

2009年11月17日

各位

オリックス不動産株式会社

横浜町田 IC ロジスティクスセンターを着工 ～ 神奈川内陸エリアに希少な大型物流施設～

オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：山谷 佳之、以下「オリックス不動産」）は、東京都町田市で計画を進めている「横浜町田 IC ロジスティクスセンター」の開発工事に着手しましたのでお知らせします。

横浜町田 IC ロジスティクスセンターは、敷地面積 34,642.36 m²、地上 4 階建て、延床面積 77,889.49 m²の大型物流施設で、各階にトラックバースを備え、複数のテナントが入居可能なマルチ型です。竣工は 2011 年 6 月を予定しており、現在入居企業を募集しています。

本物件は、東名高速道路の横浜町田 IC から約 300mの好立地で、横浜市内をはじめとして、東京都や関東圏全域を見据えた物流拠点として高いポテンシャルを有しています。

前面道路である国道 16 号線は、現在国道 246 号線との交差点を立体化する事業^{*1}が進行中で、完成後は交通状況が大きく改善され、より利便性が高まることが予想されます。

また、24 時間稼働が可能な立地でありながら、周辺は人口集積地であり入居企業の従業員の確保にも有利です。東名高速道路を利用した幹線物流から横浜市内への小口配送まで、多様な物流ニーズに対応可能な希少な立地・施設です。

さらに本物件は、環境に配慮した設計を取り入れ、CASBEE 評価で A ランク取得を目指しております。加えて、壁面緑化や潜在自然植生^{*2}の採用、太陽光パネルの設置など、より環境にやさしい施設づくりを計画しています。

オリックス不動産は、2011 年までの 2 年間で、物流投資事業として総額約 400 億円を投じ、本物件以降、小牧物流センター（愛知県小牧市、延床面積 20,055 m²、2010 年 10 月竣工予定）、川越ロジスティクスセンター（埼玉県川越市、延床面積 58,698.23 m²、2011 年 1 月竣工予定）、市川千鳥町ロジスティクスセンター（千葉県市川市、延床面積 72,035.56 m²、2011 年 2 月竣工予定）の開発を相次いで予定しています。

今後も、オリックス不動産は、オリックスグループのノウハウと情報力をトータルに活用し、人々の暮らしに密着した物流インフラの効率化・快適化推進に寄与するため、積極的に物流投資事業を展開してまいります。

*1 国道 16 号町田立体事業 詳細は川崎国道事務所ホームページをご参照ください。

*2 人為的干渉が全く入らない、その土地本来の持つ気候・風土にあった植生。防災や自然保護の観点から、近年注目が高まっている概念です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス不動産株式会社 社長室：永井・中村

: 03-3435-3411

【物件概要】

名称	横浜町田ICロジスティクスセンター
所在地	東京都町田市鶴間1610-1、1611-1他 神奈川県横浜市瀬谷区北町10-2、10-3他
敷地面積	34,642.36m ² (10,479.31坪)
延床面積	77,889.49m ² (23,561.57坪)
構造	S + SRC造 4階建 耐火構造
着工時期	2009年11月(開発工事) 2010年3月予定(建築工事)
竣工時期	2011年6月予定

【地図】



【完成予想図】

